

かさおか自慢 子ども新聞

じまん

しんぶん

海からの おくりもの

うみ べ 海辺の

津雲貝塚

笠岡市立郷土館

笠岡地区づくり委員会
まちづくり協議会
文化子ども新聞部



郷土館 津雲貝塚からでてきた貝殻

この新聞は、郷土館の展示物と津雲貝塚のパンフレットやインターネットをもとに、昔のくらしを想像して書いたものです。みなさんも大昔にもどって考えてみてください。

津雲貝塚は、笠岡市西大島地区にある笠岡市立大

大正4年の調査がきっかけとなり、津雲貝塚として全国に知られるようになりました。18回も発掘調査がおこなわれました。約4000(2500年前)の貝殻や道具や人骨などが出しました。

(五年 廣井千温)

島小學校のとなりになります。水田の中を通る通路は、貝塚の上を通っているようです。津雲貝塚は、日本を代表する縄文時代の貝塚の一つです。

ゴミ捨て場のように見える貝塚ですが、ほんとは役割を終わったいろいろなものを埋めて天国に送った場所です。そして、もう一度ここにもどってきてくれることを祈ったのでしよう。だから、人間もいっしょに埋めたのですね。

(五年 田中希莉子)

二階には毛皮のような物がならべてあるので寝室なのでしよう。

(五年 田中希莉子)



想像図 すまい

図左の女の人は、そばに水がめがあると、そばを見ると、料理をしているのでしよう。左の男の人は、何か道具を作っているように見えます。真ん中のおじいさんと子どもは、何かをやっています。



郷土館 包丁・石おの

でも、肉ばかりでは、ビタミンが足りないので、どんぐりやびわ、ぶどう・山いも・くるみ・竹のこ・きのこなどの植物も食べていたのではないのでしょうか。植物はくさってしまいい、土にまざって残らないので、でてきていません。昔の人でも、きつとバランスを考えながら食べていたのだと思います。

(五年 田中希莉子)



郷土館 動物の骨

食べていた物 一番上の写真「津雲貝塚から出てきた貝殻」を見ると、バイガイ・ツメタガイ・アサリ・マガキ・ウミナナなどの貝を食べていました。また、骨や角からウミガメ・ニホンジカ・タヌキ・イノシシ・サメ・クジラなどの動物も食べています。昔の人は、肉食が多かったのかな？



郷土館 こしかざり

(五年 廣井千温)

また、腰飾りを身に付けた男の人も見つかっています。たくさん飾りは、占い師や村長さんのような偉い人だけがつけていたようです。



想像図 アクセサリー

身につけていた物 貝塚からは、左手に8個、右手に7個の貝の腕輪をした女の人が見つかっています。こんなにたくさん飾りを身に付けている人は、昔のギヤルの人です。